馬耳東風

熱かった夏が過ぎ，秋が深まってくると気持ちは「芸術の秋」モードになり，各地で開催される美術展が気になる．一日中，展覧会場を巡ると足腰の痛さを感じるこの頃だが，それにも増して心の癒しと感動を求めてまた出かけて行く．期待通りの展覧会場は居心地が良く，暫し雑踏と隔離された別世界に遊ぶことができる．ただ，この頃気になるのは，電車に乗れば一心に画面を見つめる人ばかり，街を歩けば寂しげな疲れた表情の人ばかりが目立つことである．巷に飛び交うニュースはスポーツ関係を除いて，相変わらず悲しいこと，腹立たしいことなど世相を反映した暗い内容が多い．今年の記憶に残るニュースは社会の裏面に関する事ばかりである．東京電力福島第一原発事故に関するニュースを聞かなかった日は無いし，JR北海道の函館本線で起きた貨物列車の脱線事故も，原因調査が進むにつれて，背筋がゾッとするような保線管理体制の実態が次々と出てきた．みずほ銀行の不祥事もあきれるばかりだ．これら3社に限らず多くの企業で，組織内における意思疎通の断絶，馴れ合い組織，責任転嫁土壌，向上心の欠如など，いわば統率力および現場力の低下が想像以上に深刻な問題になっているようだ．さらに言えば，原発事故の民間事故調の報告書で，「事故がこれほどにまで深刻になったのは霞ヶ関官僚機構の縦割り構造の壁とリスク回避を決め込む組織文化の壁，さらには政治力の欠如があったため」と述べられているなど，組織疲労に関しては官界も政界も例外ではないように思われる．このように考えると，会社，組織の崩壊の原因は外部要因ではなく内部要因にあるといわれるように，日本経済の衰退にも必然性があったというべきであろう．

人間は程度の差はあるものの，誰でもミスを犯すことがあるが，組織が自壊して行くのは単なる個人の失敗に因るものではなく，失敗を修復することができない組織の体質にあるように思われる．多くの組織で導入された業績評価制度，非正規雇用者の比率が増大している現実，それらに伴う生涯賃金の格差拡大など，どれをとってみても組織の機能を最大限に発揮するための制度とは思われない．また，単に製造経費を削減するだけの目的で製造ラインの海外移転を進めた結果，採算性は向上し経営は改善したものの，製造技術力のみならず製品開発力までレベル低下を招いている実態は多くの業界で見られる．

今年のプロ野球は東北楽天ゴールデンイーグルスが日本一に輝いた．その大きな要因として星野監督が行った選手の意識改革を挙げる人が多い．選手に強い向上心を持たせ，積極的な行動に伴う失敗は大目に見てマイナス評価はしないという星野流の指導法が最下位チームを3年目で優勝に導いたという．監督が全ての責任を負う野球では言い訳は通らない．先般，緒方貞子氏が国連の難民高等弁務官時代を振り返り，「規則を守ることと，難民を救助することとどちらが重要か，トップが決断しなければ物事は進まない」と言っていた．昭和を代表する思想家，安岡正篤氏も「単なる知識人では駄目で，胆識があり，節操のある人物が出てこなければこの難局は救われません」と言った，30年以上も前に．

2014年が明るく希望に満ちた年になりますように．

（青）